

日野市生物多様性地域戦略 基本方針の検討

生物多様性地域戦略を策定する目的

生物多様性地域戦略（以下「地域戦略」と表記する）は生物多様性国家戦略（以下「国家戦略」と表記する）を基本とし、地域での人と自然に関わる様々な課題に対応するために、身近な取組みを担うことが期待されている。日野市の地域戦略についても、生物多様性基本法と国家戦略に基づき、日野市らしいまちづくりを目指す計画として地域戦略を位置づけ、運用を行う。

生物多様性国家戦略

理念

自然の仕組みを基礎とする真に豊かな社会をつくる

生物多様性に関する5つの課題

- ① 生物多様性を社会に浸透させる
- ② 地域における人と自然の関係を見直し、再構築する
- ③ 森・里・川・海のつながりを確保する
- ④ 地球規模の視野を持って行動する
- ⑤ 科学的基盤を強化し、政策に結びつける

国家戦略では、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な考え方と施策が示されている。2020年までの政府の行動計画として、「愛知目標の達成に向けたロードマップ」の実現をはじめ、生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するための約700の具体的施策が記載されている。

⇒国際的な枠組みと全国的な視点での取組みを担う

生物多様性地域戦略

- ・生物多様性地域戦略は、生物多様性国家戦略を基本としている
- ・策定は地方公共団体への努力義務として定められている
- ・地域戦略の要件「対象とする区域」「目標」「総合的かつ計画的に講ずべき施策」「その他、施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項」
(生物多様性基本法より)

地域戦略を策定する意義

- ・地域の固有財産である、生物多様性を守り、活用する
- ・地域で課題になっている、人と自然に関わる様々な課題に対応する

地域にとっての期待される効果

- ・地域の活性化をもたらし、新たな姿を創造する
- ・地域を構成する様々な主体のネットワークが形成される

地域戦略では、地域における生物多様性に関する幅広い問題や課題を解決するために、縦割りになりがちなさまざまな施策を横断的・総合的にとりまとめることで、地域の課題を解決する大きな効果が期待できる。計画は地域の特性に合わせた地域独自のものになると考えられる。

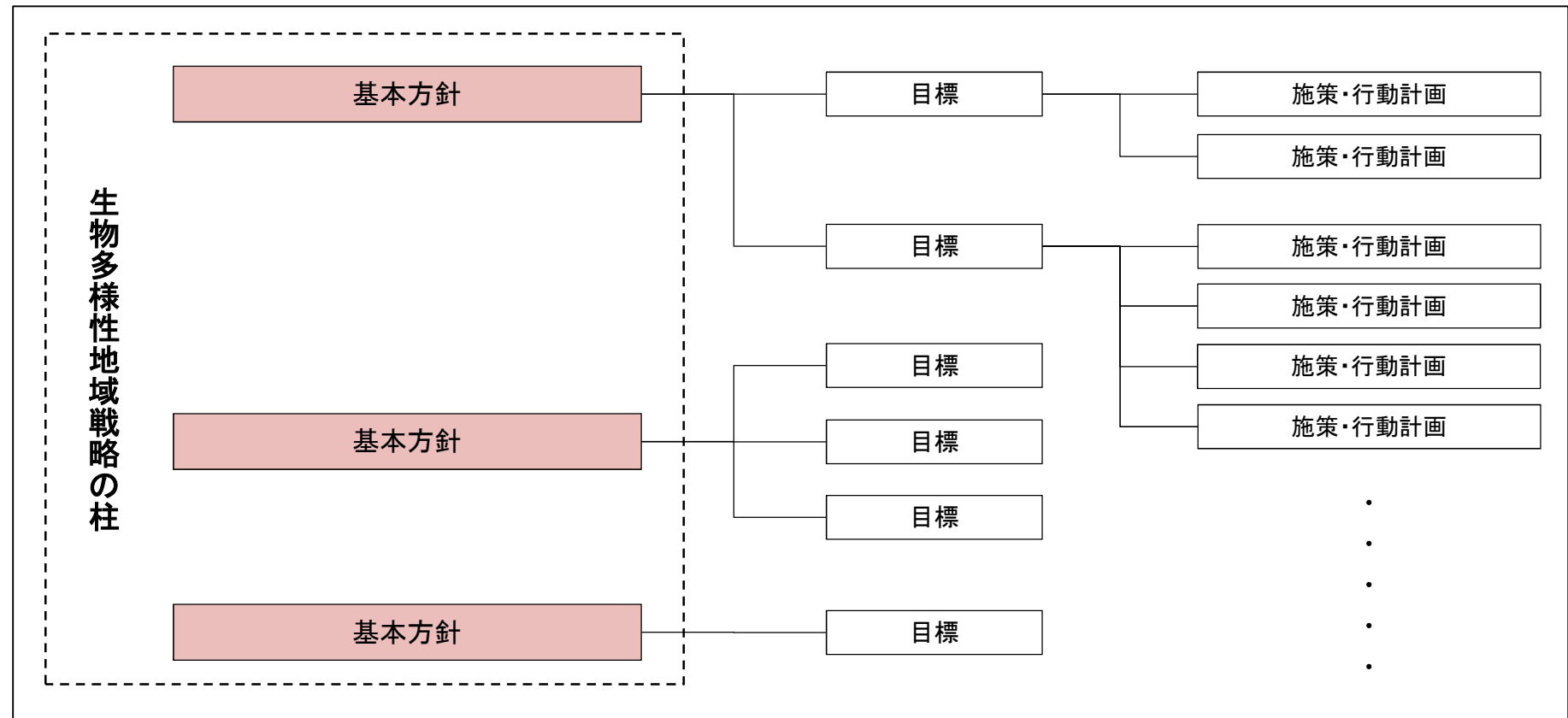
⇒身近な取組みを担う

日野市の目指すべき生物多様性の姿とそれを実現するための具体的な取り組みを示し、先人から引き継いだこの身近で大切な自然環境を次の世代へ伝え、日野らしいまちづくりを目指す計画として位置付け、運用を行う。(日野市生物多様性地域戦略 目的の一部抜粋)

地域戦略における基本方針の位置づけ

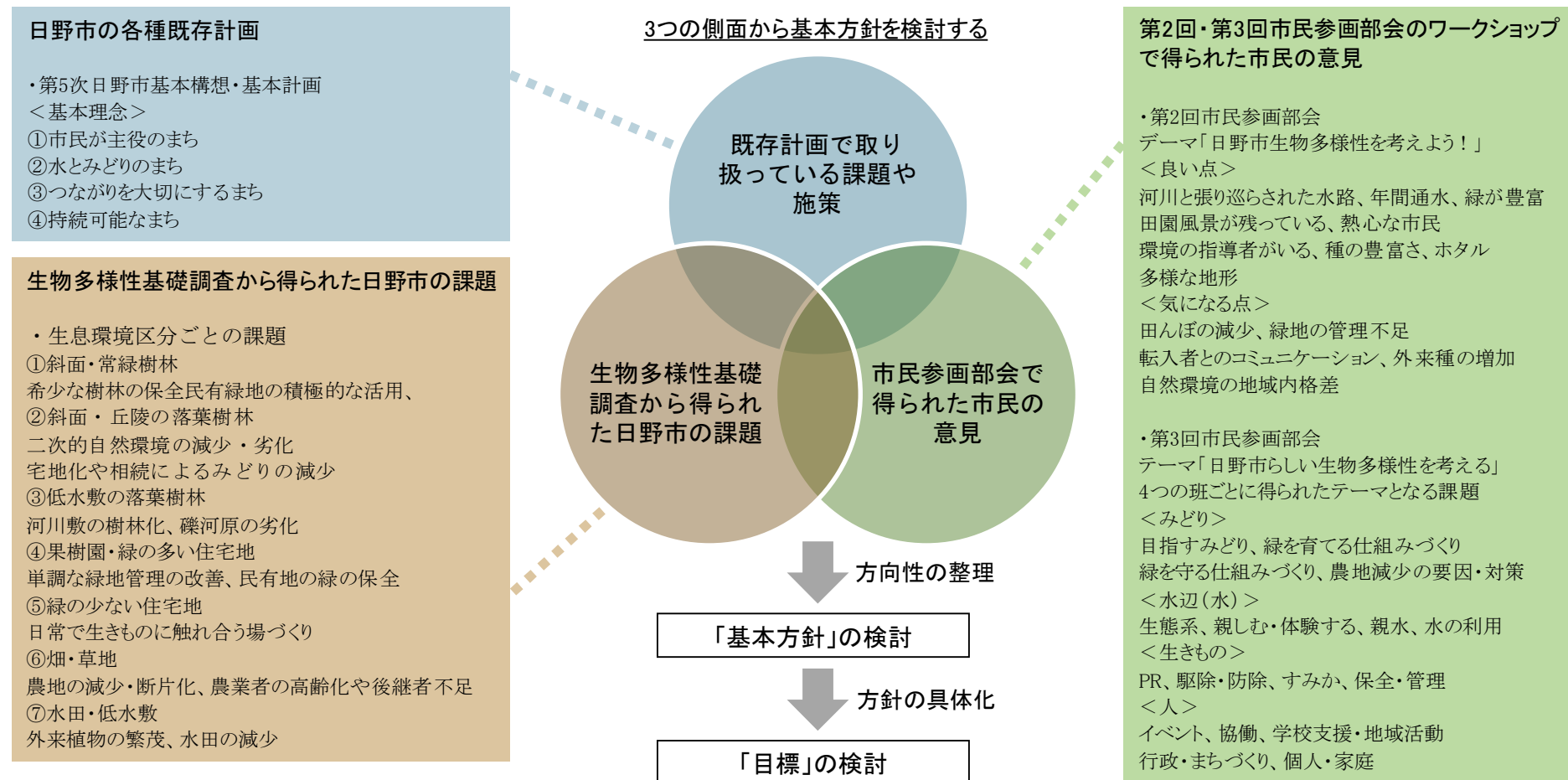
日野市らしいまちづくりを目指すために、地域戦略の柱となる大きな方向性として、基本方針を定める。基本方針に基づき目標を設定し、その目標を達成するための具体的な行動として施策・行動計画の検討を行う。

<地域戦略の体系例>



基本方針の検討方法

日野市生物多様性地域戦略の内容は、「既存計画で取り扱っている課題と施策」、「生物多様性基礎調査から得られた日野市の課題」、「市民参画部会で得られた市民の意見」の3つの側面から検討を行う。これら3つの側面から目指す方向性を整理することで「基本方針」を定め、次の段階として基本方針を具体化するために「目標」を検討する。



基本方針（事務局案）の検討

日野市生物多様性地域戦略を検討するにあたり、基本方針の事務局案を作成した。事務局案では日野市基本構想・基本計画で定められた4つの基本理念に基づき、「生物多様性基礎調査から得られた日野市の課題」と「市民参画部会で得られた市民の意見」を組み込む内容として検討した。

基本構想・基本計画で定められている基本理念	基本構想・基本計画における基本理念の内容(抜粋)	地域戦略の基本方針(事務局案)	市民参画部会で得られた関連するテーマ	生物多様性基礎調査から得られた課題
市民が主役のまち	活発な市民活動の展開	「市民が主役となって、多様な生物が生息・生育する自然豊かな日野市をつくる」	【みどり】みどりを育てる仕組みづくり 【みどり】みどりを守る仕組みづくり 【水辺】水辺での取り組み例 【ひと】協働	民有緑地の積極的な活用 二次的自然環境の減少・劣化 単調な緑地管理の改善 民有地の緑の保全
	市民参画、協働を重視したまちづくり			
	市民がまちづくりの主役として活躍できるまち			
	市政への積極的な参加			
水とみどりのまち	日野市の自然環境は先人から受け継いだ財産	「日野市の財産である、水とみどりの恵みを守り育てる」	【みどり】目指すみどり 【水辺】水辺の生態系 【生きもの】外来種の駆除 【生きもの】生きものの保全・管理	河川敷の樹林化 礫河原の劣化 農地の減少・断片化 外来植物の繁茂
	美しい財産を活かしたまちづくり			
	次の世代へ引き継げるよう自然環境を守り育てる			
つながりを大切にするまち	家族、人、地域との「横のつながり」	「生きものと身近にふれあえる環境を親子や地域で共に楽しむ」	【水辺】親しむ・体験する 【ひと】イベント 【ひと】学校支援・地域活動 【生きもの】PR	日常で生きものに触れ合う場づくり
	世代を超えた「縦のつながり」			
	つながりを重視したまちづくりの展開			
持続可能なまち	将来の世代に負担を課さない	「先人から受け継いだ豊かな自然を将来の世代へ継承する」	【みどり】農地減少の要因 【みどり】農地減少の対策 【水辺】水の利用 【ひと】行政・まちづくり	希少な樹林の保全 宅地化や相続によるみどりの減少 農業者の高齢化や後継者不足 水田の減少
	受けつがれたまちを継承する			
	持続可能な行政運営を進める			